

石垣市の取り組みについて (8月～10月)

1. おいでや！！いなか暮らしフェア（ふるさと回帰フェア2016in大阪）

○主催：NPO法人ふるさと回帰支援センター

○日時：平成28年8月6日（土）13：00～18：00

○場所：大阪天満OMMビル2階

○全176の自治体がブース出展

○全体来場者数：1,697組 3,225名

（うち、石垣市ブースへの来場者数：30組 44名）

○来場者の声

- ・沖縄が好きで何度も訪れており、本島もしくは離島への移住を検討中
- ・どのような仕事があるのか不安。仕事が決まればすぐにでも移住したい
- ・給与水準が低い割には、家賃相場が高いとの印象を受けた

⇒大阪開催の移住フェアには沖縄県としても初参加であったため、沖縄県への移住を真剣に考えている方が相談に訪れていた。仕事についての不安（情報がなかったため）を抱えている方が多かった。

2. 沖縄移住・定住相談会（島ぐらし編）

○主催：沖縄県、石垣市、久米島町

○日時：平成28年8月27日（土）12：00～15：30

○場所：東京交通会館8階（東京都）

○3自治体によるセミナー実施後、個別相談会を開催

○全体セミナー参加者数：29組

（うち、石垣市ブースへの個別相談者数：11組）

○来場者の声

- ・ 何度も石垣島を訪れており、2～3年以内に石垣市への移住を希望
 - ・ どれくらいの収入があれば生活していけるのか知りたい
 - ・ 建築関係（設計）の仕事をしており、石垣に建設関連の協会はあるか
- ⇒地域を限定した開催であったために、移住検討先を石垣島に絞っている方が相談に訪れていた。移住後の生活について、より具体的なイメージを持ってもらうために、先輩移住者の声を紹介する（あるいは相談に乗る）ことが必要であると感じた。

○全体セミナーおよび個別相談会の様子



3. ふるさと回帰フェア2016

○主催：NPO法人ふるさと回帰支援センター

○日時：平成28年10月22日（土）10：00～16：30

○場所：東京国際フォーラム

○全346の自治体がブース出展

○全体来場者数：16,031名

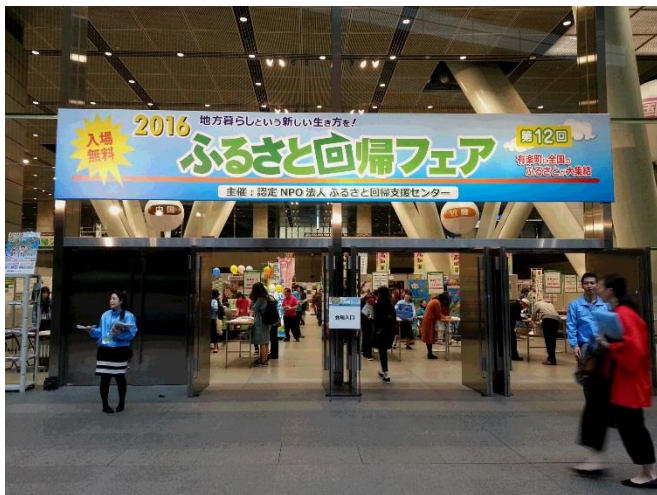
（うち、石垣市ブースへの来場者数：15組28名）

○来場者の声

- ・移住先は南の温暖な地域（九州や沖縄）を検討中
- ・各地の移住支援策など、メリットやデメリットを含め情報収集中
- ・石垣島を訪問したことはないが、離島への移住には抵抗感がある

⇒移住検討先がまだ決まっていない方の来場が多かった。石垣島を観光地としてではなく、移住候補地として認識してもらうためには、移住ガイドブックの配布など、**積極的な情報発信が必要**であると感じた。

○ふるさと回帰フェア2016の様子



4. 第1回地域の世話役養成塾

○主催：沖縄県

○日時：平成28年10月4日（土）14：00～17：00

○場所：南部合同庁舎

○地域の世話役候補や自治体職員14名参加

（石垣市からは、世話役候補4名、自治体職員1名参加）

○石垣市の世話役候補は、公募により選ばれた4名。いずれも移住経験者であり、移住者の受入れがスムーズに行われるようにコーディネーターとしての役割を期待。

○第1回の講義概要

- ・徳島県佐那河内村の職員による取組み事例の紹介を通して、世話役の役割を考察
- ・移住希望の相談者に「どの地域を紹介したいか？」「どんな人に来て欲しいか？」「そこでどんな暮らしができるか？」をワークショップ形式で実施

○今後、11月、12月、1月と全4回の開催が予定されている

○第1回地域の世話役養成塾の様子

